

輝 ねむろ

We Love Nemuro!



子どもの登下校を見守る、石井のおばちゃん

「子どもが大好きな交通指導の門番です。」と笑顔で話すのは、成央小学校の子どもの見守りながら登下校指導を行っている根室市交通安全専任指導員の石井美保子さんです。石井さんは、地域の安全を支えていきたいとの思いから、平成12年より子どもたちの交通指導を行っています。当時約600人いた成央小児童も少子化により、現在約400人まで減りましたが、登下校時の安全な通行を保護指導するのは、児童数に関係なく日々緊張感をもって接しているそうです。

「最近の子どもたちは、あいさつが苦手な子が多く、私から声をかけ、常にコミュニケーションを取ることを心がけています。」と話します。しかし、私が休むと子どもたちの方から「昨日はどうしたの？」と心配そうに声をかけてくれたり、卒業式の日に卒業生やその両親から感謝の言葉をかけてもらった時には涙が込み上げ、この仕事のやりがいを感じたそうです。

profile 石井 美保子 さん

根室市交通安全専任指導員

1951年根室市生まれ。平成12年4月から根室市交通安全専任指導員となり、現在に至る。趣味は野鳥観察、映画や音楽鑑賞。



子どもたちに「おはよう」と声かけする石井さん

千島桜を望む窓

市長室のカレンダー

今年の元旦は、

本土で一番早く初日の出が見られる納沙布岬において、昨年に引き続き初日の出を見ることで、順調な1年の始まりが感じられます。

市役所の仕事始めとなった1月7日、今年も長谷川市長より議事堂に集まった職員への訓示で新年がスタートしました。



訓示の中、地方自治体を取り巻く環境は、従来にも増して大きく変化し、根室市においては、長引く景気の低迷や人口減少など依然厳しい状況が続いており、さらに今年は、新政権のもとでデフレ脱却に向けた景気対策など、十兆円規模となる補正予算や新たな施策などを加速的に打ち出していることに対して、市長は、「職員には、国の動向を注視して、それぞれ分野での情報収集を最大限努め、その動きに遅れることなく、迅速かつ適切に対応し、根室市の振興・発展につながる施策の積極的活用などに、貪欲に取り組んでほしい。」と一層の奮起を促しました。職員らは、真剣なまなざしで市長からの言葉の一つひとつを胸に刻み込むように受け止めていました。